

KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-
北米地域との青少年交流（米国事業）平成 25 年度大学生交流事業（短期派遣）
派遣学生募集要項

中央大学 国際センター

◆当該事業について

KAKEHASHI Project –The Bridge for Tomorrow– は、日本経済の再生に向けて、青少年交流を通じて、我が国の強みや魅力等の日本ブランドや日本的な「価値」に関する理解と関心を深めるために、日本政府(外務省)により進められている事業です。本事業は、原則として、全国から選抜された大学生が米国において日本の魅力等について情報を発信し、国際的な視野を持った次世代の人材として成長するための経験を培うことを目的としています。

この事業に、本学からも学生を派遣することが決定し、その派遣学生を募集します。

日米交流、理解深化の”KAKEHASHI”になることに関心のある学生諸君の応募を期待します！

◇派遣対象事業

KAKEHASHI Project –The Bridge for Tomorrow– 北米地域との青少年交流(米国事業)
平成 25 年度大学生交流事業(短期派遣)

◇派遣時期

2014 年 3 月 3 日(月) ～ 3 月 14 日(金)

◇派遣対象国

アメリカ合衆国

◇派遣人数

23 名

◇プログラム内容

- (1) 米国滞在中、オリエンテーション、日本の強み・日本文化や地方の魅力等についてのプレゼンテーション、関連機関訪問、学校交流、報告会等を行います。
- (2) 本学の計画するテーマに、日本の強み、魅力や日本的な「価値」等について発信、交流を行います。

⇒詳細日程(案)については、P6 を参照のこと。

◇実施運営機関

国際交流基金(ジャパンファウンデーション) が日本政府(外務省)の当該事業を受託して実施

◇費用負担

本事業で負担する経費

- ・ 成田空港～北米 往復航空券
- ・ 宿泊費、食費（米国内）
- ・ 米国内移動交通費
- ・ 施設・入観料
- ・ 海外旅行傷害保険料

参加者が負担する主な経費

- ・ 日本国内の交通費
- ・ ホテル宿泊において発生する宿泊費以外の個人的経費(通信費、クリーニング代等)
- ・ 超過荷物輸送料(航空機)
- ・ パスポート取得費用
- ・ その他(左記以外の費用)

◆学生募集について

◇応募条件

- ① 本学の学部生であること
- ② 心身ともに健康であること(※1)
- ③ 日本国籍を有していること。あるいは、在留資格「永住者」を有するか、特別永住者証明書を有し日本に居住していること(※2)
- ④ 日本の強みや地域の魅力等について、英語で発信し、積極的に対話ができること
- ⑤ 規律ある団体行動ができること
- ⑥ プログラムに関するアンケートや感想文等の事後調査に協力できること(※3)
- ⑦ オリエンテーション、プレゼンテーション準備・練習等の事前準備期間の活動に参加できること
- ⑧ 短期留学プログラムやゼミ合宿等、同時期に実施される他の活動に支障をきたさないこと
- ⑨ 指定の日(1月上旬)まで、パスポートを含む必要書類をそろえることができること
- ⑩ 日本国政府および各自治体、関係機関・団体が実施する同様の事業に参加した経験、または参加の予定がないこと

(※1)基礎疾患のある方は、医師の診断書と同意書(英文)の提出が必要になります。また、妊娠中の方はいかなる週数でも参加は認められません。

(※2)永住者および特別永住者（日本居住者）については、別途外務省と協議の上、参加の可否が決定されます。

(※3)参加学生の取組みの様子は、本学、及び関係機関の広報媒体等で取り上げられる場合があります。

◇こんな方を求めています！

- TOEIC600、TOEFL iBT60 程度以上の英語能力をお持ちの方
- 日本の魅力を、他の国の方に伝えたい！と思う方
- 異なる文化背景を持つ人と、闊達に意見交換がしたい方
- 積極的にコミュニケーションが図れる方
- 英語でのプレゼンテーションに積極的に取り組む意欲のある方
- グループワークでの準備期間に意欲的に取り組むことができる方
- 本事業での経験を、帰国後にみんなでシェアしたい！と思う方

◇派遣学生には、こんなことに取り組んで頂きます！

出発前

- 日本・地域の強み、魅力についてのプレゼンテーション準備（テーマ検討、グループワークでのプレゼン・パワーポイント作成等）

派遣中

- 米国内で、領事館や大学生、対日関心層を対象に上記プレゼンテーションを行い、交流を図る。
- 米国内施設等の訪問、視察、交流を通して、理解を深める。

帰国後

- 参加後のアンケート協力
- 学内外での成果報告

…など

◇応募から派遣までの流れ

応募受付 (11月15日(金)～11月21日(木))

※提出書類は別途記載をご確認ください。

↓

書類選考 選考結果揭示 (11月29日(金))

※10:00 国際センター事務室/理工学部事務室 掲示板にて発表

↓

面接選考 (12月6日(金)または7日(土)で予定)

(実施予定地：多摩キャンパス)

※グループ面接を予定

↓

派遣学生の決定 (12月中旬)

↓

オリエンテーション 第1回(12月14日(土)予定)～第4回(2月下旬)

グループワーク 《プレゼンテーション準備》

-グループ毎の自主活動(1月上旬～2月上旬)

-派遣学生全体のプレゼン練習(1月下旬～出発前/4～5回)

学内発表 《プレゼンテーションの公開リハーサル》

(2月26日頃)

↓

米国渡航 (3月3日(月)～3月14日(金))

↓

帰国後の成果報告 (学内外)

↓

◆応募申込について

◇提出書類

- 【様式1-1】KAKEHASHI Project 参加応募用紙 No.1
- 【様式1-2】KAKEHASHI Project 参加応募用紙 No.2
- 【様式2-1】KAKEHASHI Project 参加応募用エッセイ(日本語)
- 【様式2-2】KAKEHASHI Project 参加応募用エッセイ(英語)
- 【様式3】参加応募控
- 各英語能力試験(TOEIC/TOEFL/IELTS 等、様式に記載したもの全て)のスコアシートの写し
- C-Plus 成績照会のページ
(成績評価のページと合計単位数のページ両方を A4 用紙に印刷して提出。1 年生も提出のこと。)
- (該当者のみ) 在留カードの写し
- (該当者のみ) 医師による英文の診断書および同意書 (同意書が期日に間に合わない場合はご連絡ください。)

参加応募用紙記入上の留意点

※手書き、WORD 入力のいずれでも可とします。

※記載言語(日本語/英語)の別に留意すること。

※直筆署名が必要な個所があります。Word 入力の場合は、出力後に署名してください。

◇書類配布手段

- 書面配布： 国際センター
ダウンロード： C-Plus/大学 HP/中大 Go Global Web サイト

◇応募書類受付場所

- 多摩キャンパス： 国際センター事務室(11号館2階)
後楽園キャンパス： 国際センター分室(1号館2階1230号室)

◇応募書類受付期間

2013年11月15日(金)～11月21日(木)

- 多摩キャンパス： 10:00 - 12:00 / 13:00 - 17:00 (土曜日は10:00 - 12:00/日曜日閉室)
後楽園キャンパス： 12:00 - 17:00 (土曜日、日曜日閉室)

※受付時に、受付番号を記載した控えを渡します。書類選考結果は受付番号で記載しますので、選考終了まで大切に保管してください。

◇書類選考結果発表

2013年11月29日(金) 10:00

C-plus、国際センター事務室掲示板、理工学部事務室掲示板にて受付番号を掲示。

書類選考合格者には、面接選考に進んで頂きます。

◆その他注意事項

プログラム参加者には以下の条件が適用されます。ご理解頂いた上でご応募ください。

- 1) 渡航期間のみ参加することはできません。事前のオリエンテーション、準備への参加が可能であることを条件とします。
- 2) 面接、派遣学生の打合せや公開リハーサル等は、主に**多摩キャンパス**で実施します。
- 3) 治療中の疾病、慢性疾患、重篤なアレルギー等で現在医師にかかっている場合、**医師による英文の診断書**（本事業参加への承諾を明記してもらうこと）が必要です。
- 4) 本人の体調、ご家庭の事情等やむを得ない事情がある場合を除いて、個人の意思により参加辞退、途中帰国はできません。
- 5) 参加者が、運送・宿泊機関等の事故、故意・過失・偶発による第三者行為災害、または盗難により損害を被られたときは、日米教育委員会、国際交流基金、ローラシアン協会は責任を負いません。
なお、参加者は指定の海外旅行保険(傷害・疾病)(※)に加入頂きます(費用は本事業にて負担)。

(※)海外旅行保険(傷害・疾病)概要：傷害死亡後遺障害 1 千万円、治療救済費用最大 4 千万円、賠償責任最大 5 千万円、疾病死亡 1 千万円を予定

●問合せ先

中央大学 国際センター

KAKEHASHI Project 担当 (佐藤梨絵・早川)

電話： 042-674-2215

Email： kakehashi@tamajs.chuo-u.ac.jp

《参考》 本学学生の派遣日程（案）

		行事、移動等	内容
第1日目	3/3(月)	出発前オリエンテーション(都内) ・ 講義(日米関係、日本の魅力、米国事情) ・ プレゼンテーション練習 ・ 旅程、旅行の注意点	・ 日米関係、日本の魅力、米国の社会や歴史・文化等に関する基礎的な知識の習得・確認。 ・ 英語でのプレゼンテーションスキルの向上。 ・ 青少年交流事業の意義、旅行上の注意点等を周知。
第2日目	3/4(火)	日本発 ニューヨーク到着(調整中)	
第3日目	3/5(水)	オリエンテーション(午前) ・ プレゼンテーション練習 ・ グループ・ディスカッション ・ ホームステイについて ニューヨーク視察(午後) (例:国際連合本部、メトロポリタン美術館等)	・ 英語でのプレゼンテーションスキルの向上。 ・ グループ・ディスカッションを通じた発信すべきポイントの整理・確認。 ・ 米国の生活習慣を学び、日本の生活習慣との違いを確認。 ・ 米国の主要都市を訪問し、文化・社会に対する理解を深める。
第4日目	3/6(木)	大学等との交流	・ 対日関心層等を対象とするプレゼンテーション
第5日目	3/7(金)	企業訪問 在ニューヨーク総領事館におけるレセプション (想定)	・ 在米日系企業等の見学。 ・ 対日関心層を対象としたプレゼンテーション。
第6日目	3/8(土)	地方都市へ移動(調整中) ホームステイ等	
第7日目	3/9(日)	交流大学でのプレゼンテーション ホームステイ等	・ 交流先の大学生を対象とするプレゼンテーション ・ ホームステイを通してアメリカの生活を体験する。
第8日目	3/10(月)	交流会でのプレゼンテーション ホームステイ等	・ 地方政府関係者、地元の対日関心層等を対象にプレゼンテーションを実施。
第9日目	3/11(火)	ロサンゼルスへ移動(調整中)	
第10日目	3/12(水)	大学等との交流 ロサンゼルス視察 (例:日米協会、Gettyセンター等)	・ 対日関心層等を対象とするプレゼンテーション ・ ロサンゼルスの歴史、文化、社会についての理解を深める。
第11日目	3/13(木)	ロサンゼルス発	
第12日目	3/14(金)	日本着(夕刻)	

※上記は、2013年10月現在の日程案であり、一部変更される可能性があります。